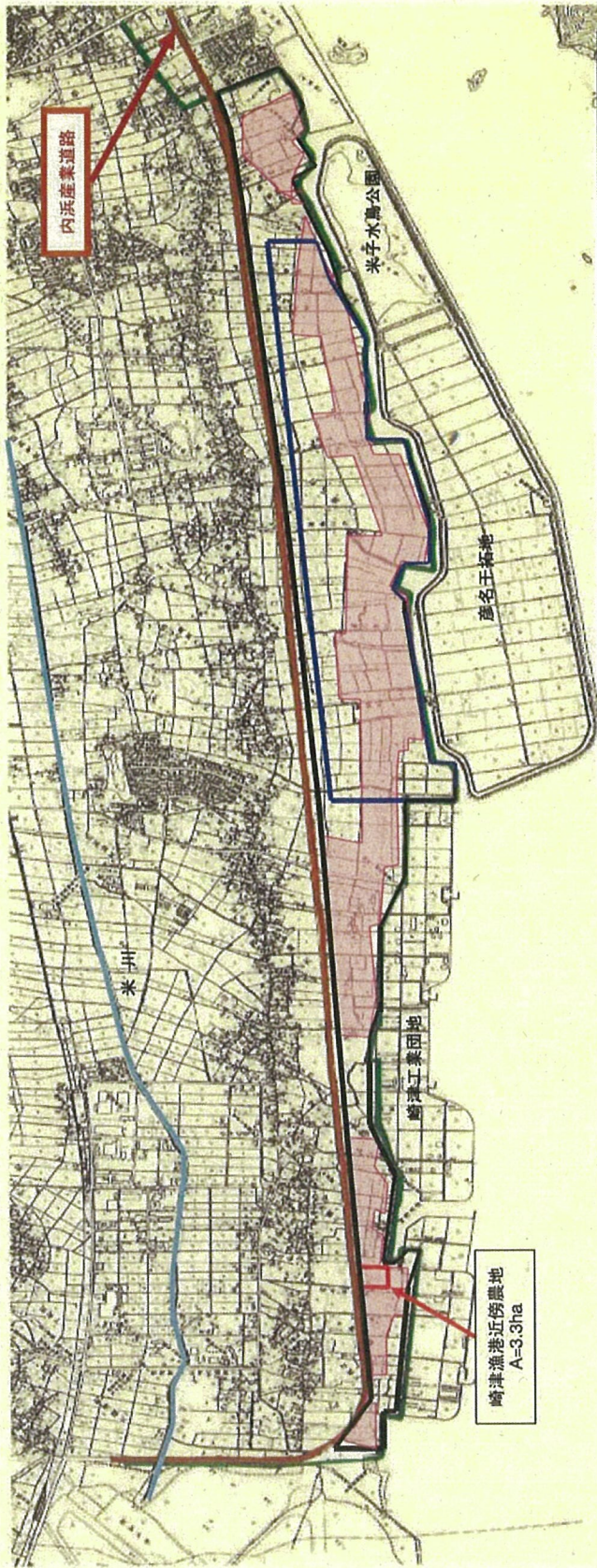


## 中海沿岸(彦名・崎津)の農地排水状況調査結果の概要

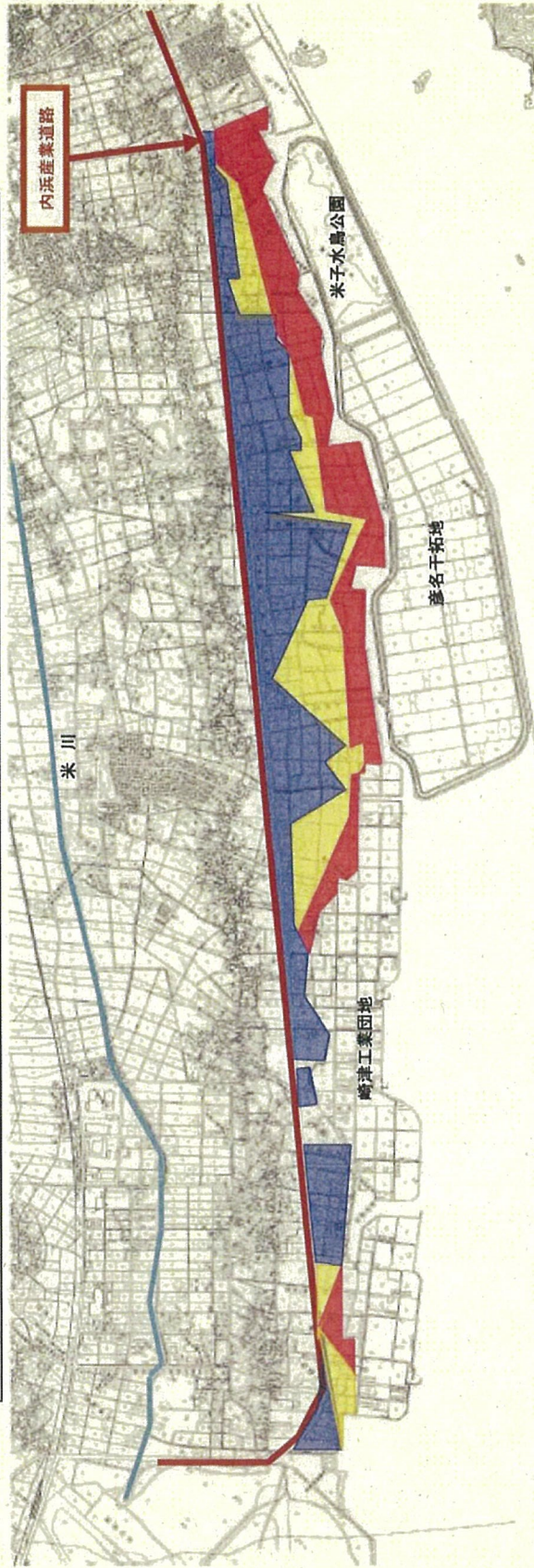
- ・排水不良区域 現地踏査結果 … P.1
- ・ほ場の標高別平面図 … P.2
- ・地下水位の標高別平面図 … P.3

# 排水不良区域 現地踏査結果



凡例	面積 (ha)	割合 (%)
調査区域	220	100.0
排水不良区域	104	47.3
農振区域	220	100.0
農振農用地区域	126	57.3

# ほ場の標高別平面図



標高	70cm未満	71～90cm	91cm以上	合計
面積 (ha)	55.6	44.8	119.9	220.3
割合 (%)	25	20	55	100

【参考】過去2年間で指定水位、暫定水位を超えた時間数

観測所名：中海湖心 (単位：時間)

項目	水位	時間数		計
		H15.8～H16.7	H16.8～H17.7	
指定水位	70cm～89cm	42	57	99
警戒水位	90cm以上	10	19	29
計		52	76	128

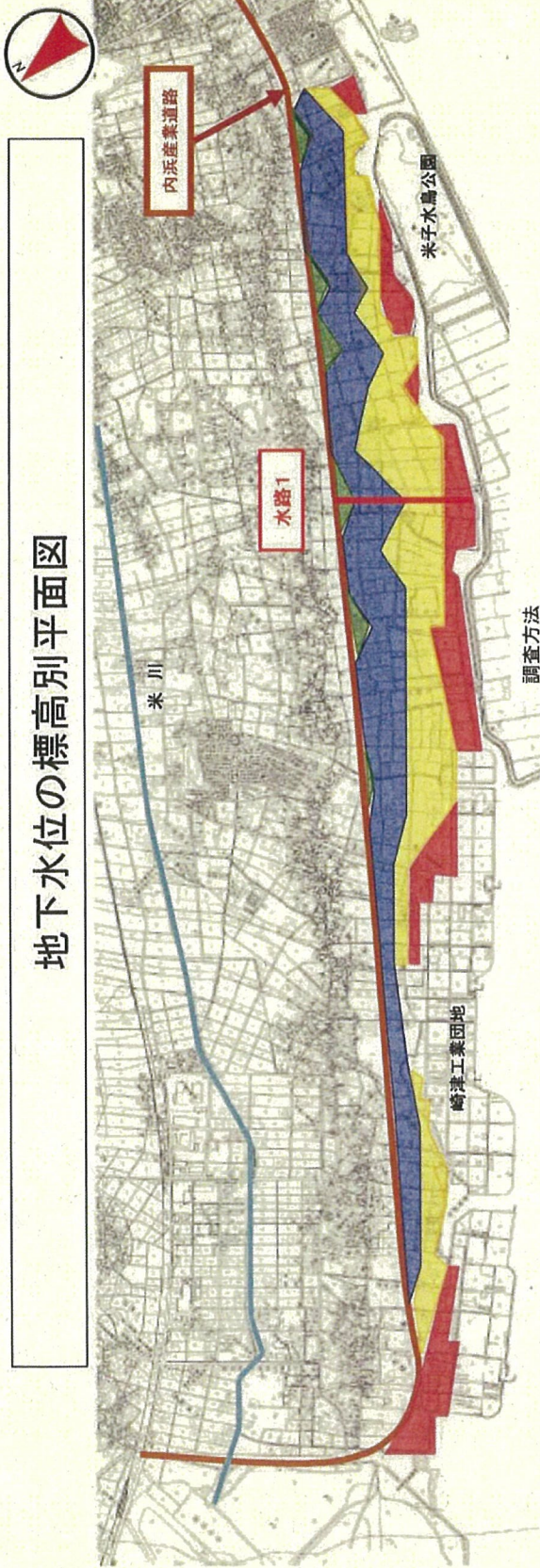
注) 標高別面積の算定にあたっては、約200m間隔で主要水路沿いのほ場標高を測定し、単純にその標高を結んだもので算定しているため、概略の数字です。

【参考】過去2年間で指定水位、暫定水位を超えた回数

観測所名：中海湖心 (単位：回数)

項目	水位	回数		計
		H15.8～H16.7	H16.8～H17.7	
指定水位	70cm～89cm	7	11	18
警戒水位	90cm以上	1	2	3
計		8	13	21

# 地下水位の標高別平面図



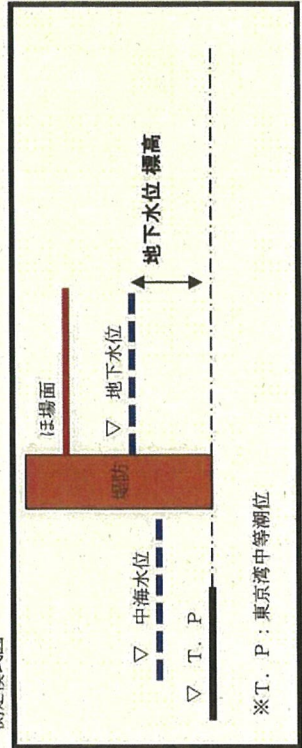
地下水位別面積集計(標高)

	30cm未満	30~50cm	51~100cm	101cm以上	合計
面積計 (ha)	48.5	72.2	114.9	6.6	242.2
割合 (%)	20	30	47	3	100

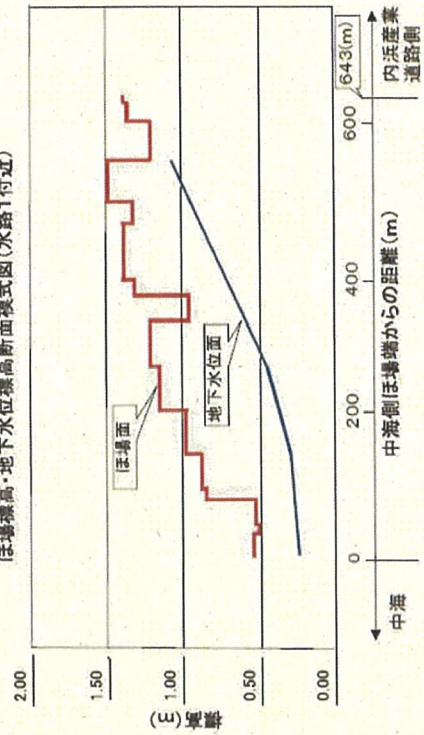
## 調査方法

調査日	H17. 9. 26~H17. 9. 28(3日間)
調査場所	排水路28路線沿いのほ場94箇所 [ 排水路: 中海沿岸に沿って約200m間隔 ほ場: 排水路に沿って約150m間隔 ]
測定方法	ハンドオーガーにより直径10Cm程度の穴を掘り、ほ場面から地下水面までの深さをコンベックスにより測定
参考	調査期間の9月26日~28日は、小潮。 潮位の変化は、12~35Cm、平均潮位23Cm

## 測定模式図



ほ場標高・地下水標高断面模式図(水路1付近)



## 中海・宍道湖ラムサール条約登録5周年記念事業について（素案）

（ 島根県・鳥取県連携事業 ）

### 1 目 的

我が国最大の汽水域である中海・宍道湖は、淡水化事業の中止後、ラムサール条約湿地に登録（H17.11.8）された。

平成22年は、国際生物多様性年であるとともに、ラムサール条約湿地登録5周年を迎える年である。また、両県知事が中海を両県共有の貴重な財産として、次代に引き継ぐ協定を締結したスタートの年である。

本事業は、関係自治体・NPO・地域住民等が参加し、条約の趣旨である「環境保全」や「賢明な利用（ワイズユース）」の「しくみづくり」について、交流・学習・普及啓発に取り組むことにより、意識のさらなる高揚を図り、豊かな恵みを次世代へ引き継ぐことを目的として開催する。

### 2 事業内容

「豊かな恵みを次世代に引き継ぐために（仮称）」をテーマに、3本柱で事業を展開

区 分	開催時期（予定）	開催場所（予定）
記念展示 オープニングセレモニー	9月29日（水）から 10月9日（土）まで	島根県民会館（松江市）
シンポジウム・展示	10月30日（土） 13:00～16:00	米子市文化ホール（米子市）
次世代を担う子どもたちの交流	未 定	未 定

#### （1）ラムサール条約登録5周年記念展示 「中海・宍道湖を知る、学ぶ展」（仮称）

展示は、5つのコンセプトにより宍道湖・中海の歴史や暮らしをはじめ、過去から現在を学び、次世代に繋がるものを提案する。

展示のテーマ	内 容
両湖が太古の昔から形づくられた経緯の展示	○両湖の成り立ちや歴史に関する展示（クジラの骨、漁具等） ○出雲風土記が語る古代の宍道湖・中海
ちょっと昔の地形や生活を古い写真で展示紹介	○中海・宍道湖の今昔写真の展示 ・大正、昭和の写真から両湖の歴史と暮らしを辿る写真を集め、拡大し、解説
現在の生物多様性	○両湖魚介類の水槽展示・鳥類等の剥製・生物写真の展示 ○小中学生からのポスター、絵画の募集と展示（愛鳥週間） ○フォトコンテストの実施と展示
みんなで取り組む宍道湖・中海の保全活動展	○登録から5年を振り返って、主な保全活動と事柄を紹介 ・NPOや地域住民、行政の取組
中海・宍道湖の恵み展	○人や水鳥にとっての豊かな湖の恵み ○将来への「賢明な利用」について展示

#### （2）ラムサール条約登録5周年記念シンポジウム（記念展示を含む）

登録から5年の変化や今後の賢明利用について、専門家や地域での活動団体の取組みを紹介し、将来につながる活動のあり方を探るとともに、さらなる環境保全に向けた意識醸成を図る。

時 間	内 容
13:00	開 会（条約登録の経緯、シンポジウムの趣旨）
13:05-13:25	主催者あいさつ（両県知事）
13:30-14:50	基調講演またはリレートーク～将来へつなげる活動のあり方～（仮題） ◎環境保全：水質浄化、環境美化、環境学習、調査研究 ◎賢明利用：観光業（エコツーリズム）、水産業
14:0-15:00	意見交換（参加者と会場）
15:10-15:40	両県知事と子ども達との意見交換（子どもから知事へのメッセージ）
15:40-16:00	両県知事のコメント（決意表明）・閉会